

■ M7.6の大地震発生!? 学生・教職員・地域住民ら約1万人による大規模避難訓練 ■
「関大防災 Day2016～広がれ！みんなの安全・安心！～」を実施
 ～ “炊出し訓練” “火災時煙体験” “浸水時ドア開閉体験” など関連イベントも開催 ～
 【日時】11月18日(金)11:40～16:10 【場所】千里山キャンパスほか 全5キャンパス

関西大学ではこのたび、学生・教職員・地域住民ら約1万人が参加する大規模地震避難訓練・第7回「関大防災 Day～広がれ！みんなの安全・安心！～」を、11月18日(金)11:40から、総面積約35万㎡の広大な千里山キャンパスおよび4つのキャンパス(高槻・高槻ミュージズ・堺・北陽)にて実施します。

「関大防災 Day」は2010年から実施しており、今年で7回目を迎えました。訓練では、授業中にマグニチュード7.6の「上町断層直下型地震」(震度6強以上)が発生したと想定し、学生・教職員の避難から誘導、安否確認に至るまでを、本学オリジナルの「地震対応マニュアル」に基づき実施します。

また緊急時は、学内外を問わず、全学生・教職員の状況を把握する必要があることから、携帯電話等のメール機能を活用する「緊急連絡メールシステム」を用いた安否確認も並行して行います。

さらに千里山キャンパス構内では、大学・地域住民協同による炊出し訓練をはじめ、防災シンポジウム「備えあれば憂いなし―災害に備える支えあいの仕組みづくり―」や火災発生時の煙体験、浸水時ドア開閉体験、日本赤十字社協力によるAED・応急処置体験、消火器・消火栓放水体験、建物上階からの降下避難体験など、防災に関連したさまざまなイベントを開催します。加えて、地域における災害時の一時避難地に指定されている同キャンパス構内の「災害用備蓄倉庫」見学ツアー(メディアの皆様向け)も実施します。

本学では、学内における防犯・災害等への対策として、緊急時の連絡体制や危機管理マニュアルの整備ならびに、地元自治体・警察署・消防署など学外団体との協力体制の確立に取り組んでいます(全国の大学で初となる「国土強靱化貢献団体認証」(レジリエンス認証)を取得[2016.8]、日本赤十字社大阪府支部と「防災教育・啓発パートナー協定」を締結[2014.7]、吹田市と「災害に強いまちづくりにおける連携協定」[2013.5])。また2016年9月には、千里山キャンパスへの第3の通学路となる「新アクセス・エリア」を新設し、有事の際の安全な移動ルートを確保するなど、“地域の中の大学”として、その連携の強化および地域防災力の向上に努めています。

つきましては、ご多忙の折恐縮ですが、取材のご検討をよろしくお願い申し上げます。

記

【日時】 11月18日(金) <報道受付(1) 10:40～(2・3) 11:15～>

(1) 「災害用備蓄倉庫」見学ツアー(メディアの皆様向け) 11:00～11:15

(2) 地震避難訓練 11:40～12:10

2時限目の授業中、11:40に地震音を放送。授業担当者らは各避難場所まで学生を誘導し、安否確認シートを配布・回収。並行して、緊急連絡メールシステムを利用した安否確認を実施。

(3) 防災イベント 11:40～16:10 (以下は千里山キャンパスでの実施内容)

① 防災シンポジウム ② 炊出し訓練・試食会 ③ 防災啓発ブース ④ 火災時煙体験

⑤ AED・応急処置体験 ⑥ 浸水時ドア開閉体験 ⑦ 消火器・消火栓放水体験

⑧ 降下避難体験 ⑨ 吹田市危機管理室の取組み紹介

【場所】 関西大学千里山キャンパス(吹田市山手町3-3-35)ほか 全5キャンパス

【参加者】 本学学生・教職員・地域住民 約1万人

以上

※当日の取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先まで事前にお知らせ願います。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当:石田、寺崎

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-0201 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

この伝統を、超える未来を。



■「関大防災Day2016」開催概要

【地震避難訓練・安否確認訓練】（千里山・高槻・高槻ミュージズ・堺・北陽キャンパス共通）

○地震避難訓練（11：40～12：10）

2時限目の授業中、11：40に地震音を放送。その後、授業担当者等が各避難場所まで誘導。

○安否確認訓練（11：50頃～終了まで）

避難場所において、安否確認シートの記入・回収を行う。
並行して、緊急連絡メールシステムを利用した安否確認を行う。
これらの実施結果から、安否確認方法の有効性を検証する。



【防災イベント】（千里山キャンパス）

① 防災シンポジウム「備えあれば憂いなしー災害に備える支えあいの仕組みづくりー」（14：40～16：10）

日頃の支えあいの仕組みづくりが災害時に生きてくるという観点から、日常と非日常をつなげる支援システムとコミュニティのあり方について考える。※聴講者には備蓄食料を進呈。

<第1部> 関西大学学生相談・支援センター：「障害のある学生支援事業ーシステムづくりと実際ー」

<第2部> 吹田市福祉部：「災害時要援護者支援事業ーシステムづくりと実際ー」

② 炊出し訓練・試食会（12：00～配給実施終了まで）

本学災害用備蓄品のサバイバルフーズを利用し、学生・教職員・近隣住民が協同で約2,000人分の炊出し訓練を実施。来場者に配給を行う。

③ 防災啓発ブース（11：50～15：00）

防災への関心を高め、防災意識を共有できるよう、多くの企業・団体に協力いただき、災害対策用品や保存食等を紹介（試食含む）するテントブース（約30張）を設置。大学・学生の防災分野の取り組みも紹介。



④ 煙体験（12：00～15：00）

吹田西消防署の協力を得て、テントハウス内に人体に無害な煙を発生させ、火災発生時における煙の怖さと避難方法を体験する。

⑤ AED・応急処置体験（3回実施〔13：00～、14：00～、15：00～〕）

日本赤十字社の協力を得て、AEDおよび身近な道具（雑誌・ハンカチ等）を利用した応急処置の講習を実施。

⑥ 浸水時ドア開閉体験（12：00～15：00）

本学環境都市工学部・石垣泰輔教授研究室の協力のもと、実物大ドア模型を用いた浸水時避難体験。実際に浸水した場合、どのくらい水位が上がればドアを開けることができなくなるかを体験する。

⑦ 消火器・消火栓放水体験（12：00～15：00）

消火器を使用しての消火訓練、屋外消火栓を使用しての放水訓練等、実際の消火作業を体験する。



⑧ 降下避難体験（12：00～15：00）

避難器具を使用しての降下避難を体験する。

⑨ 吹田市危機管理室の取り組み紹介（11：50～15：00）

「吹田市地域防災総合訓練」等の行事パネル、100均ショップで揃う防災グッズの展示・紹介を行う。